

新建ハウジング主催

第5回 地域工務店

技能継承の考え方  
若い大工を  
どう育てるか

●熟練大工、職人が減少するなか、職人が育成される全体の課題となっている。  
●現場大工、若手が減少するなか、職人が育成される全体の課題となっている。  
●現場大工、若手が減少するなか、職人が育成される全体の課題となっている。

「カッコよさ」は単に外見だけでなく、職人、業、カッコイイ大工を育てるには、思う存りや手際の良さなど、分枝業をふるえる仕事で、それが工務店の質の高さを象徴している。カッコよさ、カッコイイ大工を育てるには、思う存りや手際の良さなど、分枝業をふるえる仕事で、それが工務店の質の高さを象徴している。

●松本紀英(松本建設工)カッコイイ大工を育てるには、思う存りや手際の良さなど、分枝業をふるえる仕事で、それが工務店の質の高さを象徴している。

●田中武(オガワニック)カッコイイ大工を育てるには、思う存りや手際の良さなど、分枝業をふるえる仕事で、それが工務店の質の高さを象徴している。

カッコイイ大工を育てよう



大久保工務店  
大久保賢生さん

FPの家に加盟し、昨年は加盟企業と共同でバツシブな住宅の商品化を実現。木へのこだわりで、ウレタンコーティングに裏付できない、塗り付け家具なども提供する。OB客を大切にしながら新築、リフォーム、土地探しまで対応。



川嶋工務店  
川嶋 満さん

社員はみな大工の工務店。木材を手折りしてつくる住宅のよさをこれからも求め、技能者養成力を入れていく。格好いい大工を育て、自分も成長していきたい。



那須住宅  
益子晃人さん

不動産分譲もあてて取り組んでいる。高断熱住宅で差別化を図ってきたが、昨年からバツシブな住宅にも着手。自然素材の活用にも使命感を持って対応したい。



アップル  
大竹喜世彦さん

百貨店営業から転身し、リフォーム業で独立した。新築と違い難しい面はあるが、自然素材を多用したシックハウスにならないように、機械を使わないバツシブな住まいを目指す。



川水建設  
川水憲三さん

宮大工として創業し、自分が4代目。寺社建築への取り組みの一方でFPの家に加え、新商品の開発にも参加した。最近はコンパクトな家が増えている。家族が笑顔になる家づくりがモットー。



目目建設  
松村教男さん

家族経営の工務店で、FPの家に加え、長期優良住宅を標準仕様とし、ゼロエネルギー住宅にも取り組んでいる。今後はバツシブな考え方を取り入れたいと考えている。



COMODO建築工房  
飯田 亮さん

設計事務所で創業。昨年から工務店として施工も受注。1人で営業から設計、施工、アフターまでこなす。アーキテクトビルダーとして、まったく新しいジャンルを確立したい。



今泉建築設計事務所  
小林郁剛さん

25年間に渡り、地元の大工としてリフォームを中心に数多くの現場に関わってきた。今後、会社であって職人養成力を入れていきたい。目標は次世代につながる仕事。



サンワ設計小山支店  
永井友哉さん

ツバファイバー住宅やリフォームを行う地域工務店。現在、とくにアタリに力を入れていく。最近では消費増税の駆け込みで展示場の集客が増えている。目標は満足してもらえたく速な家づくり。



流通  
渡邊賢了さん

水まわり機器の問題。住宅業界の情報はいち早く工務店に提供し、サポート機能を果たしていきたい。住宅政策への取り組み方などについて、セミナーも開催していきたい。



工務店リフォーム会社  
松本紀英さん

若い人の手の届く価格で、ハウスメーカーにできない真夏の家づくり時に昨年からは着手した。自ら現場で叩いているなか、若い大工の育成が課題だが、チャレンジしていきたい。



木の城工務  
上野修一さん

環境意識の高い住まい手と仕事をしたいと考え、かつ、等身大をげながら、地産地消の家づくりや自然エネルギーの活用を報発信している。遠方の人から問い合わせがくる。



オガワニックススタジオ  
田中 武さん

設計主体の工務店として活動。自分の仕事や考えをアナウンスし、共感してくれる住まい手をお客様にしていきたい。震災後は、エアコン1台であたまるバツシブな家づくりの日を目指している。



池田光一さん

製材から取り組み、栃木県産材使用率100%など、地域産品を志向した家づくりを行っている。事業規模の拡大を夢見て、新しいな仕事一つひとつこなすのがモットー。

